| | | | |
|---|---|---|---|
| 区分・種別 | 重要文化財（工芸品） | | |
| 名　　称 | 木造扁額（もくぞうへんがく）　1面　　額文「日本總鎮守大山積大明神（にほんそうちんじゅおおやまづみだいみょうじん）」 | | |
| 所　在　地 | 今治市大三島町宮浦 | | |
| 所　有　者 | 大山祇神社 | 管 理 団 体 | |
| 指定年月日 | 昭和12年8月25 日 | | |
| 解　　説 | 額板は縦126㎝、横81.0㎝、厚さ9.1㎝で、3枚の板を矢筈（やはず）形に組み、透き間のできるのを防いでいる。<br>「日本総鎮守大山積大明神」の11文字が2行に書かれている。筆力は雄渾で雅味に富んでいる。<br>製作の年代は不明であるが、社伝によれば平安時代後期に「三蹟（さんせき）」の一人である藤原佐理の筆といわれている。 | | |